

あびら回顧録

安平町が誕生して10年。
今月号からは、平成18年度に発行した「広報あびら」の紙面からまちのできごとなどを紹介していきます。

～平成18年5月号

できごと×安平町初代町長初登庁
(紙面から) 安平町長・安平町議会選挙結果
追分消防団と早来消防団の統合「安平消防団」が誕生
人口と世帯 平成18年4月末 9,334人 / 4,228世帯



3月27日の合併から4日後に誕生した元気な男の子。
安平町となって第1号の出生児です。

安平町長初登庁



4月23日に選挙が行われた安平町長選挙で瀧孝氏が当選。翌24日に早来庁舎で足利芳文選挙管理委員長から当選証書が渡され、正式に初代安平町長に就任しました。瀧町長は、4月25日8時30分に安平町役場(早来庁舎)に初登庁し、職員から歓迎を受け、両庁舎で職員を前に就任のあいさつを行いました。



町民の目線に立った働く役場づくりを

地域に入り多くの人と話しあって進めるまちづくり

瀧町長は初登庁後、職員を前に今後の方針や町民の皆さんに対する対応などについて、次のとおりあいさつを行いました。

3月27日に安平町がスタートしました。これまで合併に向けて大変ご苦労をかけたと思いますが、職員の皆さんのご努力のたまものと思い感謝申し上げます。

まず町民の皆さんに私が訴えてきたことを述べます。安平町という町ができ、地域が歩んできた歴史を職員がきちんと踏まえ、地域の住民と手を取り合って良い町を創っていきたい。

そのために私たちが存在、その機関として役場がある。そういう認識を持って、町民の目線に立った、町民のための機関である意識を常に持ち、安平町民のために働く役場づくりを職員と共に築いていきたい。

私は、このことを職員の前にも認識していただき、今後、総合計画や財政計画、新年度予算の作成にあたり、頭を切り替えて取り組んでほしい。

この3週間の間に、私は、多くの方の意見や町民の声を聞いてきました。職員は、庁舎内にとどまらず、公務や公務外でも町に出づくりや町民の生活などについて地域にけ込んでいたいただきたい。

私も一日も早く職員皆さんの顔と名前を覚えるよう努めていきますので、新しい安平町に向けての私の公約実現について、機会あるごとに職員一人ひとりの声を聞かせていただきます。

以上、安平町長としての最初のあいさつといたします。



新町長にメッセージ

町長、当選おめでとうございます。一日も早く追分、早来の地域が一体感の持てる町になることを願っています。頑張ってください。(追分地区で農業を営む上岡久之さん)



お互いの町の良いところを伸ばし発展してほしい。町の課題や問題点がありますが、住民が生活しやすく明るい町にしていきたい。早来中学校生徒会長 大原れいさん



夢をかなえるお手伝いをしますよ。酒が飲みたくなったら、いつでも声をかけてください。早来産だるま郵便局長 眞保生紀さん (追分小学校の同期生)

紙面のトップは、安平町長の初登庁。このとき役場では、職員に向けた町長のあいさつがありました。